

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室  
 TEL：03-5253-8111 内線 42353  
 アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

## リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年7月4日

リコール届出番号	外-1417	リコール開始日	平成19年 7月 5日				
届出者の氏名又は名称	ピー・エー・ジー・インポート株式会社 代表取締役 デービッド・ブルーム <table border="0" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">[</td> <td>製作国：英国</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">]</td> <td>製作者名：ランドローバーグループ社</td> </tr> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">問い合わせ先：お客様相談室 0120-92-2992</p>			[	製作国：英国	]	製作者名：ランドローバーグループ社
[	製作国：英国						
]	製作者名：ランドローバーグループ社						
不具合の部位（部品名）	電気装置（制動灯スイッチ）						
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	制動灯スイッチ内部の接点の電気負荷に対する容量が不足しているため、制動装置作動時に接点が焼き付き、 ①制動灯が点灯したままの状態となる。そのため、そのままの状態で使用を続けると、制動灯スイッチが発熱し、配線が溶損して、最悪の場合、発煙・火災に至るおそれがある。 ②制動灯が点灯しなくなり、シフトレバーがパーキング位置から動かなくなることがある。						
改善措置の内容	全車両、制動灯スイッチを対策品と交換する。						
不具合件数	国内：3件	事故の有無	国内：無し				
発見の動機	国内市場からの情報及び国土交通省の指摘による。						
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用者：電話又はダイレクトメールで通知する。</li> <li>・ 自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・ 改善実施済車には運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近に外-1417のステッカーを貼付する。</li> </ul>						

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び輸入期間	リコール対象車の台数	備考
ローバー	E-LJ36D	ディスカバリー	SALLJGBM3MA091588～SALLJGBM3MA095651 平成6年5月9日～平成6年6月16日	16	
	E-LJR		SALLJGMM3MA091123～SALLJRM3WA794472 平成6年 5月31日～平成10年8月21日	8830	
	Y-LJL		SALLJGMF3MA093666～SALLJGM73TA510780 平成6年6月16日～平成8年4月5日	696	
	KD-LJL		SALLJGM73TA179567～SALLJGM73WA799993 平成7年 12月01日～平成11年3月2日	4578	
	(計4型式)	(計1車種)	(輸入期間の全体の範囲) 平成6年5月9日～平成11年3月2日	(計14120台)	

【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。